

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社ホームページに決算の内容や会社現況を説明した動画を昨年に引き続き掲載いたします。本通信と合わせてそちらをご覧ください、当社の現状につきご理解を深めて頂ければ幸いです。

ここに当社第78期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

2022年6月

■当期の概要

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症、期末に起きたロシアのウクライナ侵攻、半導体等の部品供給不足、輸送費やエネルギー価格の高騰等の影響があったものの、総じて回復傾向が見られました。但し、一部業種は部品不足による減産等の影響を大きく受けました。

こうした状況下ではありましたが、当社グループにおいては主要顧客である半導体・各種分析関連装置市場に加えて自動車、家電向け金型システム商品の需要が好調に推移し、受注高は19,989百万円（前年同期比6,343百万円、46.5%増）と大幅な増加となりました。売上高は駆動システムの増産や、金型システムの売上げが寄与し18,042百万円（前年同期比4,753百万円、35.8%増）と受注高の増加と同様に大幅な増加となりました。

利益面に関しては、増収効果や利益率の改善が寄与して、営業利益は1,334百万円（前年同期比972百万円、268.3%増）、経常利益は1,437百万円（前年同期比1,079百万円増、

前期の約4倍）と大幅な増益となりました。

一方、当社の連結子会社であるJenaer Gewindetechnik GmbH（ドイツ）は、コロナ禍の影響の中で社員の欠員や高齢化に伴う退職者の増加、その補充のための新規採用が困難な状況が続いたこと等から生産が低迷したために、2期連続の営業損失計上となりました。今後エネルギー価格の高騰や、工場移転に伴う賃料の上昇の影響等も顕在化してくることも踏まえ同社固定資産の将来の回収可能性を検討した結果、特別損失として固定資産減損損失380百万円を計上することといたしました。

以上のことから、親会社株主に帰属する当期純利益は563百万円（前年同期比437百万円、345.0%増）となりました。配当については1株当たり25円と、前期比15円の増配とさせていただきます。

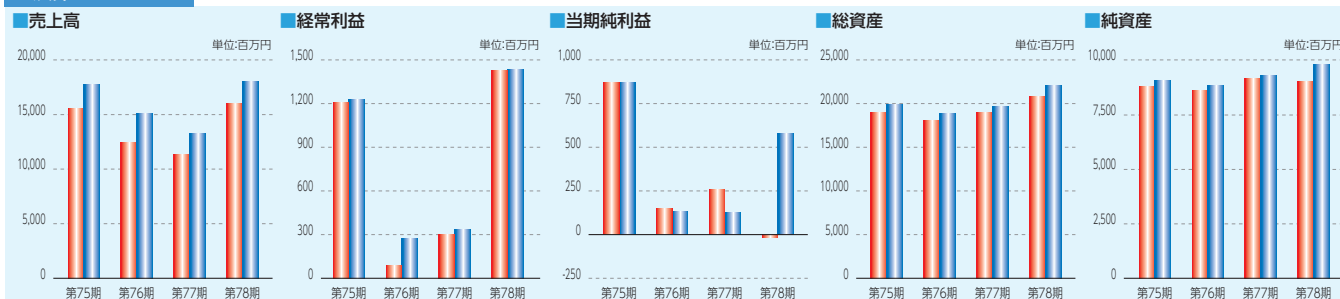
■来期の見通し

当社グループを取り巻く外部環境につきましては、ロシア・ウクライナ情勢に起因する国際情勢の不安定化、資源価格の高騰、変異株ウイルスの出現による感染再拡大やロックダウンの実施、各種部材不足と国際物流の混乱等、様々な不透明な要因が錯綜しております。

このような環境の中、当社グループは主要顧客である半導体・各種分析関連装置市場に加えて自動車、家電向け金型システム商品の需要が引き続き好調に推移していることから、次期の連結業績につきましては、売上高20,000百万円を見込んでいます。利益面については、相対的に利益率の低い製品の売上構成が増加すること、新規設備投資による減価償却費及び人件費を含む経費等が増加すること、それらに加え欧州経済減速下でドイツ子会社の業績低迷が続くと見られること等を織り込み、営業利益1,350百万円、経常利益1,250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円を見込んでおります。

次期の年間配当につきましては、上記の収益見通しを勘案し、1株当たり31円を予定しております。株主の皆様には何卒ご理解と変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

決算ハイライト



## ■ 駆動システム

売上高 **8,370**百万円

当セグメントでは、主要市場である半導体製造装置・各種分析関連装置分野向けを中心に高水準な受注が継続し、受注高は10,004百万円（前年同期比4,207百万円、72.6%増）と大幅に増加しました。受注高の増加に伴い生産体制増強に努めた結果、売上高は8,370百万円（前年同期比2,843百万円、51.5%増）となり、営業利益は1,137百万円（前年同期は営業利益99百万円）と大幅な増収増益となりました。

## ■ 金型システム

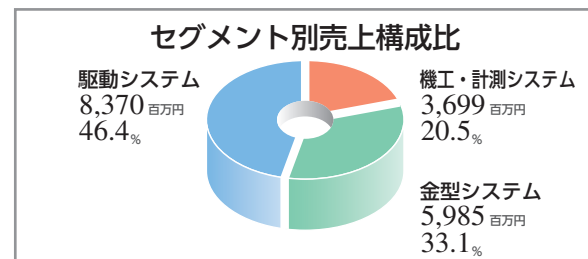
売上高 **5,985**百万円

当セグメントでは、車載用モーター向け金型および家電用モーターコア等の受注増加により、受注高は5,965百万円（前年同期比1,403百万円、30.8%増）と増加となりました。売上高は、東南アジアでの新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を期前半は受けたものの、操業が正常化した第3四半期以降売上を大きく伸ばした結果、5,985百万円（前年同期比1,570百万円、35.6%増）、営業利益は274百万円（前年同期比48百万円、21.3%増）と増収増益となりました。

## ■ 機工・計測システム

売上高 **3,699**百万円

当セグメントでは、部品納期の長期化等の影響を受けましたが、需要の回復や懸命の調達努力により、受注高は4,032百万円（前年同期比732百万円、22.2%増）、売上高は3,699百万円（前年同期比338百万円、10.1%増）と前年同期を上回りました。収益面では、人件費をはじめとした固定費の増加及び自動車業界減産の影響を受けた連結子会社の業績不振の影響等の結果、営業損失52百万円（前年同期は営業利益64百万円）となりました。



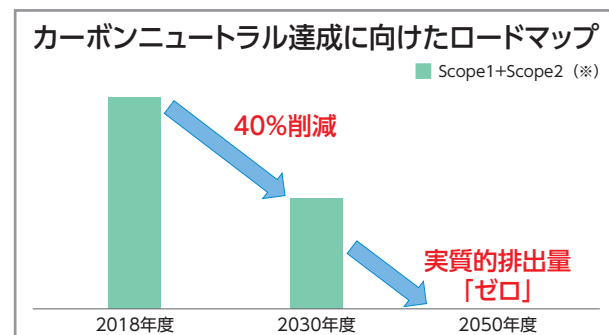
各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

## ■ 長野工場拡張と大型プレスライン等の増設

2022年度、当社長野工場では、近年ますます拡大する電動自動車向けモーターコアの需要に対応するため、工場内にあらたに第8工場（生産棟）と倉庫棟を建設する予定です。生産棟には、大型のモーターコアにも対応可能な専用の大型プレス機によるモーターコア生産ラインを設置するとともに、モーターコア内に装着する磁石を、特殊な樹脂によって固定するシステム（樹脂固着システム MAGPREX®）を併設し、多様化するお客様のニーズに的確にお応えしつつ、生産能力の増強と生産効率の向上を同時に図る計画です。2022年7月中に着工の予定で、2023年中の稼働開始を目指しております。

## ■ 黒田精工カーボンニュートラル宣言

当社は2019年12月にCO<sub>2</sub>排出量削減の中長期目標を設定しておりましたが、2020年10月に表明された政府目標を踏まえ、この計画を見直し、2050年度にカーボンニュートラル達成を目指すこととしました。具体的には、各種省エネ施策の実施、全社用車のEV化、工場への太陽光パネルの設置等に加え、経済合理性のある調達価格で購入できる環境になっていることを前提として再エネ由来等のカーボンフリー電力への切り替え、さらに削減が困難な部分の排出量については植林（J-クレジット制度）等によるカーボンオフセットを含めた施策により、実質的CO<sub>2</sub>排出量ゼロを目指します。



(※) Scope1：自社での燃料の使用による温室効果ガスの直接排出  
Scope2：自社が購入した電力の使用による温室効果ガスの間接排出（発電所での排出）

## ■ ドイツ子会社工場移転プロジェクト

ドイツの子会社であるJenaer Gewindetechnik GmbH（以下、JGWT）は近隣にデベロッパーが建設中の新工場への移転を計画しています。昨年12月には、地元テューリンゲン州の経済大臣が来訪され、精密部品工場のリニューアルとなる今回のプロジェクトを全面支援する意向を表明して下さいました。JGWTは現在業績面では厳しい状況にはありますが、環境に配慮した新工場への移転を機に、生産性およびエネルギー効率を向上させ、成長が見込まれる欧州ボールねじ市場において基盤の一層の強化を図ります。



新工場完成予想図



テューリンゲン州経済大臣来訪の様子

## ■ 中国におけるモーターコア事業に関する提携について

2022年2月、中国の無錫隆盛新能源科技有限公司と中国市場における電動車用モーターコア事業に関わる業務提携を行うことで合意しました。当社が開発した金型内接着積層工法であるGlue FASTEC®を同社にライセンスすることを通じ、現地でのモーターコア供給体制を拡充するとともに、急速に拡大しつつある中国の電動車市場への取り組みを一層強化し、Glue FASTEC®を世界のハイエンド電動車市場におけるグローバルスタンダードとして確立することを目指します。



無錫隆盛新能源科技有限公司が建設中のモーターコア新工場

## ■ リアル展示会への出展

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除を受けて、2021年10月より、「測定計測展」、「メカトロテックジャパン2021」、「EV・HEV駆動システム展」等、各種展示会への出展を再開いたしました。期間中に多くの引き合いをいただき、「withコロナ」の段階へシフトする中、リアルとデジタルを組み合わせ、新しい世の中に適応した営業活動を進めてまいります。



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2021年3月31日現在	2022年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流 動 資 産	9,462	12,062
固 定 資 産	10,196	9,984
有 形 固 定 資 産	6,868	6,730
無 形 固 定 資 産	974	898
投 資 そ の 他 の 資 産	2,353	2,355
資 産 合 計	19,659	22,047
<b>負債の部</b>		
流 動 負 債	5,779	7,322
固 定 負 債	4,573	4,919
負 債 合 計	10,352	12,241
<b>純資産の部</b>		
株 主 資 本	7,190	7,708
資 本 金	1,902	1,911
資 本 剰 余 金	1,507	1,516
利 益 剰 余 金	3,788	4,289
自 己 株 式	△8	△9
その他の包括利益累計額	1,941	1,904
その他有価証券評価差額金	766	697
土 地 再 評 価 差 額 金	814	814
為 替 換 算 調 整 勘 定	301	355
退職給付に係る調整累計額	58	37
非支配株主持分	175	193
純 資 産 合 計	9,306	9,806
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,659	22,047

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2020年4月1日～ 2021年3月31日	2021年4月1日～ 2022年3月31日
売 上 高	13,289	18,042
売 上 原 価	9,942	13,135
売 上 総 利 益	3,346	4,907
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,984	3,572
営 業 利 益	362	1,334
営 業 外 収 益	169	279
営 業 外 費 用	174	177
経 常 利 益	357	1,437
特 別 利 益	264	26
特 別 損 失	376	426
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	246	1,037
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	93	525
法 人 税 等 調 整 額	23	△66
当 期 純 利 益	129	577
非支配株主に帰属する当期純利益	2	14
親会社株主に帰属する当期純利益	126	563

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2020年4月1日～ 2021年3月31日	2021年4月1日～ 2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	531	2,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△887	△716
財務活動によるキャッシュ・フロー	315	△748
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	24
現金及び現金同等物の増減額	△78	709
現金及び現金同等物の期首残高	2,214	2,136
現金及び現金同等物の期末残高	2,136	2,846

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2021年3月31日現在	2022年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,009	10,555
固定資産	11,010	10,200
有形固定資産	6,109	6,247
無形固定資産	163	158
投資その他の資産	4,737	3,794
資産合計	19,020	20,755
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,556	7,094
固定負債	4,316	4,648
負債合計	9,873	11,742
<b>純資産の部</b>		
株主資本	7,566	7,500
資本金	1,902	1,911
資本剰余金	1,479	1,488
利益剰余金	4,192	4,110
自己株式	△8	△9
評価・換算差額等	1,581	1,511
その他有価証券評価差額金	766	697
土地再評価差額金	814	814
純資産合計	9,147	9,012
負債・純資産合計	19,020	20,755

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2020年4月1日～ 2021年3月31日	2021年4月1日～ 2022年3月31日
売上高	11,375	15,975
売上原価	8,906	12,021
売上総利益	2,468	3,954
販売費及び一般管理費	2,173	2,656
営業利益	295	1,297
営業外収益	164	260
営業外費用	155	131
経常利益	303	1,427
特別利益	297	11
特別損失	280	1,035
税引前当期純利益	319	403
法人税、住民税及び事業税	58	457
法人税等調整額	2	△34
当期純利益	258	△19

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 会社の概要

(2022年3月31日現在)

商号 黒田精工株式会社  
本店 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
創業 1925年(大正14年)  
資本金 19億11百万円  
従業員数 421名

## 連結対象会社の状況 (2022年3月31日現在)

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダインターナショナル株式会社 クログレージョンインダストリーズ(M) (マレーシア) 平湖黒田精工有限公司 (中国) 韓国黒田精工株式会社 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国) Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ) KURODA JENA TEC, INC. (米国) 株式会社ゲージン	日本金型産業株式会社

## 当社グループの主要な事業 (2022年3月31日現在)

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、コンプレッサ

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月下旬  
基準日 毎年3月31日  
議決権 電子  
公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。  
<https://www.kuroda-precision.co.jp/>  
ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

## 株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問合せ	受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

## 黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524  
<https://www.kuroda-precision.co.jp/>

